

令和2年度 江戸川区立下鎌田東小学校 学校関係者評価 報告書

学校教育目標	・生涯にわたって学ぶ意欲をもち、生きる力の基となる考える力の育成 ・自分も相手も大切にし、豊かでしなやかな心の育成 ・健康な体をつくり、粘り強くやり抜く力の育成	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	笑顔と活力にあふれ、児童一人一人が自分のよさを発揮できる学校 考える子 思いやりのある子 たくましい子 協働し、質の高い教育活動の実現を目指す教師
前年度までの学校経営上の成果と課題	< 成果 > 家庭、地域との連携を深めた教育活動を展開することができた。全体的に学力の向上が見られ、児童は落ち着いた態度で学校生活を送ることができた。 < 課題 > 組織的な教育力や対応力をさらに向上させ、児童の学びを支えること。		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価		学校関係者評価		来年度に向けた改善策	
					取組	成果	成果と課題	評価		コメント
特色ある教育の展開	小中連携教育の推進	「小中連携教育構想」及び「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	連携プログラムに基づく授業の実施 近隣中学校と連携した活動	中学進学時の不安解消	B	B	○連携に関する担当者間の打ち合わせを実施した。 ●新型コロナウイルス感染症拡大防止のため児童生徒間、教員間の活動は中止。	B	感染症が抑えられたら、また、児童生徒間、教員間の交流活動を進めてほしい。	状況をみながら小中連携の取組を検討し、実施していく。
教員の資質向上	教員研修の充実	ICTアシスタントによる校内研修の実施によるICTを活用した教員の授業力の向上	ICT校内研修を年3回以上実施	週1回以上デジタル教科書、カメラ等活用授業実施率80%	A	A	○ICT校内研修を年3回実施した。 ○ICT活用授業実施率80%達	A	ICTが日常的に活用されているようだ。	タブレット端末を含め、ICT活用を増やす。
	特別支援教育の推進	校内委員会の活性化を図ることなどによる指導・支援の充実	特別支援教育研修年3回実施 ユニバーサルデザインに関する提案・周知	要支援児童の全校体制での支援・見守り 全学級によるユニバーサルデザインの授業実施	A	B	○特別支援教育研修を年3回実施した。全校体制で支援を行った。 ●UDに関する資料を定期的に提供し、授業に生かせるようになっているが、学級により取組に差が出ている。	B	ユニバーサルデザインの授業を研究し、進めてほしい。	UD推進の働きかけを強化し、教職員の意識の向上を図る。
いきいきと学ぶ教育の充実	確かな学力の向上	「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補習の実施などによる指導の充実と授業力の向上	補習教室を定期的実施 東京ベネシックの実施 全国学力調査・都学力調査への取組	東京ベネシック・ドリル診断シートの平均正答率の向上 全国・都学力調査で正答率を区の平均以上とする	A	A	○東京ベネシック・ドリル診断シート2回目の平均正答率は約10%向上した。 ○全国・都学力調査は中止。令和元年度都学力調査に取り組み、都平均と同等の結果を得た。令和2年度全国学力調査を使って復習に取り組んでいる。	A	取組の成果が上がっている。継続した取組を望む。	算数の個々の学習カルテを活用し、個に応じた指導の充実を図る。
	読書科の更なる充実	学校図書館の整備・活用の推進や探究的な学習の充実 ・読書科ノートの活用など、探究活動、探究的な学びの充実 ・学校図書館を使った授業の充実	読書科ノートを活用した授業調べ学習での図書館の積極的活用 年2回の読書週間の実施	全学級、週1回以上図書館を活用する	A	A	○全学級も週1回以上の図書館活用を実施した。 ○読書で得た情報を整理・分析し、問題を解決する学習によく取り組み、図書館を活用した調べ学習に慣れてきた。	A	図書やPCを活用した調べ学習等に慣れてきたようなので、いろいろな場面で問題解決的な学習に取り組みしてほしい。	読書科ノートを調べ学習等で効果的に活用できるように研修の機会を増やす。
	体力の向上	体育の授業や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上	運動遊びを定期的実施 体育の授業の充実	日常的な外遊びの充実 学習カード等を活用した授業・評価の実施	A	A	○運動遊びに加え、兄弟姉妹学年でのなかよし班遊びを定期的実施。 ○体育における学習カード活用の実施率が向上した。	A	地域でよく遊んでいる姿を見かける。学校でもよく体を動かしているようなので、外遊びやなかよし班遊び等の継続を望む。	なかよし班遊びの実施等、活動の場を設定しているようなので、外遊びを奨励していく。
	オリパラ教育の推進	「オリンピック・パラリンピックレガシー創造プラン」に基づく取組やオリパラコーナーの充実	ゲストティーチャーによる授業の推進 月1回のオリパラコーナーの更新	オリンピック・パラリンピックレガシー創造プランの確実な実施	A	A	○ゲストティーチャーによる体験学習を高学年で実施した。 ○オリパラコーナーの充実に努め、オリパラに関する児童の理解を深めた。	A	ゲストティーチャーによる体験学習は、本物の触れる貴重な機会だと思いうので継続してほしい。	ゲストティーチャーによる授業に関連させるなどして、オリパラコーナーの充実を図る。
	外国語教育の推進	授業力の向上とALTの効果的な活用	年間指導計画に基づいた外国語教育の推進	70時間の外国語、35時間の外国語活動の確実な実施	A	A	○ALTをT2として効果的に活用し、70時間の外国語、35時間の外国語活動を確実に実施した。	A	楽しみながら学んでいけるような活動の継続を望む。	ALTを活用するとともに、研修を実施して授業の充実を図る。
	健全育成に向けた取組の強化	いじめ・不登校の未然防止に向けた魅力ある学校づくりの取組の充実 チルドレン・サポートチームや生活指導連絡協議会の活用	毎週的生活指導連絡会の充実 道徳授業週間の実施 いじめ・不登校対策委員会の開催	いじめ問題解消率100% ノーチャイムでの学校生活の実施	A	A	○いじめ対策委員会等で、組織的に解決にあたることで、いじめ問題は解消に向かっていく。 ○年間を通してノーチャイムでの学校生活が定着した。	A	児童の様子や変化を細かく観察してほしい。 ノーチャイムで学校生活が送れていることは大変素晴らしい。よい伝統にしてほしい。	いじめ、不登校等については、定期的に情報の共有を行い、早期に組織的な対応を行っていく。
校務改善に向けた取組の推進	校務改善の推進	学校運営システムの改善・充実 効率的・効果的な職務遂行の推進	校務分掌の改善 会議等の精選 一斉定時退勤日を毎週設定 完全退勤時刻を20時に設定	各学期ごとに校務分掌の見直しを実施 時間外在校時間の平均を1年間で10%削減	A	B	○校務分掌の見直し等、校務改善に努めた。 ●時間外在校時間の平均が減ったが10%減には及ばなかった。	B	時間外在校時間が減ってきていることは評価できる。取組の継続を望む。	時間外在校時間が45時間以上の教職員には、個別に話をして効率的な業務の推進に努力させる。
	校務改善の推進 ライフ・ワーク・バランスの推進	家庭・地域との連携の推進	学校評価を活用した改善システムの充実 積極的な情報発信	各学期ごとに学校評価を実施し、改善を図る	A	A	○2学期の学校評価を基に校務改善を図ってきた。 ○ホームページや連絡メールによる発信を定期的実施した。	A	コロナ禍であったが、学校便りやホームページ、連絡メール、学校評議員会、授業公開等を通して、家庭・地域と連携できていた。	保護者にとって利便性の高いWEBアンケート等による学校評価を活用して回答率を高め、評価に基づいた改善を図る。